体育実技

科目ナンバリング　ESS-110
選択　　1単位

角杉　美恵子

1. 授業の概要（ねらい）

本授業では、『小学校学習指導要領　体育』の各領域の内容構成を理解するとともに、授業構成に向けての基礎的・基本的知識を理解し、体育授業を行う基本的な能力を身に付けることを目的とします。

各領域の授業を構想し演習（体育実技）を通して、教員に求められている実践的指導力の基礎を培うとともに、集団的活動を通して仲間と協力する態度や思考力、コミュニケーション能力を高めます。

2. 授業の到達目標

*各領域の内容構成について説明できる。
*基礎的・基本技能を習得し、実技指導に必要な模範を示すことができる。
*指導に必要な安全管理（リスクマネージメント）について説明できる。
*研究協議等に積極的に参加し、相互評価することができる。
*指導者（教員）としての資質向上を図るための実践力を有している。

3. 成績評価の方法および基準

*授業実施回数の2／3以上の出席を必要とする。
*授業への取り組み状況：リフレクションシート、レポート等提出物　40%
*技能：領域種目の実技テスト　　60%

4. 教科書・参考文献

教科書
必要に応じてプリントを配布する。
参考文献
文部科学省　『小学校学習指導要領解説「体育編」』　東山書房
文部科学省　『小学校体育（運動領域）まるわかりハンドブック』
岩田靖　吉野聡　日野克博　近藤智靖　編著　『初等体育授業づくり入門』　大修館書店

5. 準備学修の内容

①「主体的・対話的で深い学び」を実践する授業です。各領域の内容や練習方法について事前学修に努めること。
②個人の基礎技能を高めるために、授業以外にも基礎体力の向上や実技練習に心がけること。
③配布した資料等必ずファイルに綴じて、自習に努めること。

6. その他履修上の注意事項

①指導者を意識した服装・態度で臨み、積極的、主体的に学修すること。
②人と人のかかわりを大切にし、「共に学びあい・高めあい」の雰囲気の醸成に努めること。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション　授業の進め方、運動領域の構成と安全管理等について学ぶ
【第2回】　体つくり運動系領域①：「体ほぐしの運動」「多様な動きをつくる運動」「体の動きを高める運動」の理解と実技
「整列・集団行動」「ラジオ体操」
【第3回】　体つくり運動系領域②：「体ほぐしの運動」「多様な動きをつくる運動」「体の動きを高める運動」の理解と実技
【第4回】　器械運動系領域①：「マット運動」「跳び箱運動」の理解と実技
【第5回】　器械運動系領域②：「マット運動」「跳び箱運動」の理解と実技
【第6回】　陸上運動系領域①：「短距離走・リレー、ハードル走」「走り幅跳び」「走り高跳び」の理解と実技
【第7回】　陸上運動系領域②：「短距離走・リレー、ハードル走」「走り幅跳び」「走り高跳び」の理解と実技
【第8回】　水泳運動系領域①：「水遊び」「クロール」「平泳ぎ」の理解と実技
【第9回】　水泳運動系領域②：「水遊び」「クロール」「平泳ぎ」の理解と実技
【第10回】　ボール運動系領域①：「ボールゲーム、鬼遊び」「ゴール型、ネット型、ベースボール型」の理解と実技
【第11回】　ボール運動系領域②：「ボールゲーム、鬼遊び」「ゴール型、ネット型、ベースボール型」の授業構想と演習
【第12回】　ボール運動系領域③：「ボールゲーム、鬼遊び」「ゴール型、ネット型、ベースボール型」の授業構想と演習
【第13回】　表現運動系領域①：「表現」「リズムダンス」「フォークダンス」の理解と実技
【第14回】　表現運動系領域②：「表現」「リズムダンス」「フォークダンス」の授業構想と演習
【第15回】　各領域のまとめとよい体育授業について探究する
履修内容のリフレクション